

平成23年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	地震調査研究観測データの分析評価支援		担当部局	研究開発局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成8年度～平成22年度		担当課室	地震・防災研究課		地震・防災研究課長 寺田 博幹		
会計区分	一般会計		施策名	X-8 安全・安心な社会の構築に資する科学技術の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	新たな地震調査研究の推進について(平成21年4月21日地震調査研究推進本部)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地震防災対策特別措置法に基づき設置された地震調査研究推進本部(以下、地震本部)は、日本の地震に関する調査研究を一元的に推進している。本事業は、地震本部の審議及び活動の円滑かつ効率的な進展のため、地震に関する各種調査観測から得られたデータの分析・評価等に関する技術的な面からの支援等を実施する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①地震調査委員会長期評価部会、強震動評価部会等での検討を円滑かつ効率的に進めるため、文献収集やデータ解析により、各種評価に係る資料を用意する。 ②地震本部が進める「活断層基本図(仮称)」の作成に向けて全国に存在する活断層の網羅的なデータ収集・位置判読作業を実施する。 ③地震本部の公表する成果や活動内容等について、一般国民や防災関係者に分かりやすく提供し、地震防災に関する知識の普及や防災意識の高揚等を図るため、成果発信を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	0	0	0			
		繰越し等	0	0	0			
		計	376	319	261			
	執行額	376	318	261				
	執行率(%)	100.0%	99.7%	99.9%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	学会等における口頭・ポスター発表数	成果実績	回	4	4	7		
		達成度	%	-	-	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	【活動指標】 広域多岐にわたる地震調査研究推進本部の審議及び活動の効率的な推進に向けた、地震関係情報の収集・分析評価支援		活動実績 (当初見込み)		-	-	-	-
	【活動実績】 ・長期評価や強震動評価に資するデータ・資料収集を行い、検討が円滑に進むよう支援を行った。 ・沿岸海域活断層分布図作成に向け、資料収集等を行った。 ・「地震調査研究推進本部」ホームページの運用・管理を行い、広報普及に努めた。 ・活断層の位置・形状情報の収集及び特定や活断層に関する調査・評価結果等の収集を行い、GISの中に収録した。					(-)	(-)	
単位当たりコスト	39(円/アクセス)		算出根拠	平成22年度執行額/平成22年度「地震調査研究推進本部」ホームページ総アクセス数				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
				※平成22年度限りの経費				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	-	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は広く国民のニーズがある地震調査研究推進本部による活動を支援するという点で、間接的にニーズがあると言える。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	調査研究委託のため、コスト削減の概念になじまない。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・地震調査研究推進本部の活動を支える事業である「地震観測データ集中化の促進」との整理統合を検討した。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
	-	平成21年度レビューの指摘を踏まえ、平成22年度をもって廃止の上、他事業と整理統合している。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
-			

文部科学省
261百万円

諸謝金 0.1百万円
職員旅費 0.1百万円 } を含む。

事業概要

地震防災対策特別措置法に基づき地震調査研究推進本部が、観測データの分析及び評価等を行う際に必要な支援を行う。

公募/委託

公募/委託

一般競争入札/委託

【A】(財)地震予知総合研究
振興会
27.6百万円

【B】(財)地震予知総合研究
振興会
227百万円

【C】(株)防災・情報研究所
6百万円

概要

地震本部が進める「活断層基本図(仮称)」の作成に向けて全国に存在する活断層の網羅的なデータ収集・位置判読作業を実施する。

概要

地震調査委員会長期評価部会、強震動評価部会等での検討を円滑かつ効率的に進めるため、文献情報やデータ解析により、各種評価に係る資料を用意すると共に、強振動予測計算に用いる震源断層モデルの構築を行う。

概要

地震本部の公表する成果や活動内容等について、一般国民や防災関係者に分かりやすく提供し、地震防災に関する知識の普及や防災意識の高揚等を図るため、成果発信を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

【A】(財)地震予知総合研究振興会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	業務担当職員	11.2			
業務実施費	雑役務費(データ処理に要する経費等)	7.1			
	借損料	2.2			
	諸謝金	1.5			
	消耗品、国内旅費、会議開催費、光熱水料、通信運搬費、消費税相当額	3.1			
一般管理費	上記経費の10%	2.5			
計		27.6	計		0
【B】(財)地震予知総合研究振興会			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	業務担当職員	95.9			
業務実施費	雑役務費(データベース保守に要する経費等)	43.9			
	借損料	29.4			
	消耗品費	11.7			
	国内旅費、諸謝金、光熱水料、通信運搬費、電子計算機諸費、消費税相当額	25.4			
一般管理費	上記経費の10%	20.6			
計		227.0	計		0
【C】(株)防災・情報研究所			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	業務担当職員	3.6			
業務実施費	印刷製本費	0.7			
	通信運搬費	0.3			
	雑役務費(印刷物校正に要する経費等)	0.2			
	消費税相当額	0.2			
一般管理費	上記経費の20%	1.0			
計		6.0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

【A】活断層の詳細位置情報等調査

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)地震予知総合研究振興会	地震本部が進める「活断層基本図(仮称)」の作成に向けて全国に存在する活断層の網羅的なデータ収集・位置判読作業を実施する。	27.6	企画競争	-

【B】地震調査研究観測データ等の分析評価支援事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)地震予知総合研究振興会	地震調査委員会長期評価部会、強震動評価部会等での検討を円滑かつ効率的に進めるため、文献情報やデータ解析により、各種評価に係る資料を用意すると共に、強振動予測計算に用いる震源断層モデルの構築を行う。	227.0	企画競争	-

【C】地震調査研究成果の普及支援業務

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)防災・情報研究所	地震本部の公表する成果や活動内容等について、一般国民や防災関係者に分かりやすく提供し、地震防災に関する知識の普及や防災意識の高揚等を図るため、成果発信を行う。	6.0	1	100%